



2009～2010

沼田ロータリークラブ会報

ロータリーの未来はあなたの手の中に
THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

2009～2010年度 国際ロータリー会長 ジョン・ケニー

例会日…毎週火曜日 12:30 会長 桑原 裕 幹事 永井彰一 会報編集 桑原 滋
例会場及事務所 沼田市東原新町1540 利根郡信用金庫本店内 TEL 0278-24-1177

第2566回 例会報告

2009年9月12日

記録 桑原 滋

例会予告

9/15	新会員卓話 荒井静雄・桑原伸一郎君
9/22	取 消 日

<http://www.rid2840.jp/numata/>

2009年9月15日発行 No.10

沼田中央RC合同記念講演会

ロータリーの活性化

2680地区パストガバナー 田 中 毅 先生



■講師紹介

桑原 裕会長

先生は、昨年松倉ガバナー四大奉仕セミナーで講演され、出席された方はご存知かと思っています。私はそのほか源流セミナーにも出席させていただき勉強いたしました。

プロフィールは、尼崎西RC所属で眼科医をされています。ロータリー歴は、96～97年第2680地区ガバナー、00～03ロータリー・ジャパン・ウェブ委員長、02～04大阪国際大会インターネット委員長、04規定審議会代表議員・同座長等まだまだ多くの役を行われ、その他に年2～3回全国で源流セミナーを開催されています。趣味を尋ねると、まず初めにロータリーと言われます。我々も趣味に入りたいと感じました。

本日は、クラブの活性化をテーマにご講演いただきます。

記 念 講 演

■はじめに

この地区との関わりは、03年識字率向上のゾーンコーディネイターをしていた時に、重田PGが小委員長をしていてからで、その後、曾我・横山、そして昨年度松倉年度と連続してきています。

今回、桑原会長から依頼をずいぶん前から受けていて、日程を永井幹事から電話で頂いたのですが忘れてしまいったり、新幹線を間違えたり失敗の連続でしたが、運良く無事に来られました。

本日は、ロータリーの根本を話すよう依頼されていましたが、いかにしてクラブを活性化できるか皆さんに考えていただきたいと思います。

各クラブは自治権を持っていてRIに干渉されず管理運営できます。それを行うのには、クラブ細則が大事です。ほとんどがクラブ細則を重視してはいるのですが、現状にあったものに考え直してみてください。細則には、理事役員選出、委員会構成、入会手続き、例会運営、資金管理という運営部門や奉仕活動の実践を定義しています。魅力有るクラブにするのには、細則を見直しどう決めるかが重要となります。

■会員減少と自治権

97年から日本での会員数が減り始め、05年には10万人を切り更に減り、インドに越され第3位となってしまいました。会員減は世界数では止まりましたが日本では止まっています。経済的理由もありますが、日本の特徴としてベテラン会員の退会が目立ちます。これは、ロータリー運動に対する関心の変化、不信感へとつながったのではないかと思います。財団の集金組織、地区・RIのやり方に情熱が薄れて、不満となったのではないかと。心が揺り動いているのを止めるのが原点である。親睦があれば、声を掛けられる会員がいる、心を開き語り合える友人に囲まれている、そのことに感謝できます。魅力有るクラブにするため自治権を行使した運営に心掛けることです。

■新資本主義

ロータリアンはビジネスマンで資本主義を抜きにしては語れません。アメリカンスタンダードのロータリー、財団はイリノイ州の法律で成り立ち、グローバルのようでアメリカンです。共和党の大統領はロータリアンであり、アメリカのロータリアンの72.5%は共和党支持者です。民主党大統領で唯一ロータリアンだったのがケネディーです。共和党は、ネオ・コンサーティブで新資本主義の考え方です。資本主義の原型は、資本家対労働者、20世紀後半になり複雑化して、経営者が入り、労働者も従業員と進化しました。近年は、グローバル化して資金を集め投資をするファンドが更に入り複雑化しています。これを受け入れたのが共和党で、その多くがロータリ

アンであります。

シェルドンの職業奉仕の理念は、自分の利益を求める前に職業を通じて社会に奉仕をすれば自然と継続的に見返りがある。職業分類の中には、投資ファンドは含まれていません。

■ロータリー運動とは何か

世に有益な職業から一人一業種で選ばれた会員が、毎週一回の例会に集い、互いに師となり従となり集団で奉仕の心を学びつつ、自己研鑽を行う。そして、それぞれが個人生活、職業、地域社会、国際社会で奉仕を実践するのがロータリアンの生活である。01年一人一業種が5人（10%）以内と変わり、例会出席より奉仕活動の実践を進める傾向が強まり、原則が崩れてきました。

ロータリー活動は、例会内では、奉仕の理念を研鑽し、事業上の発想の交換を会員が行う自己改善の場であり、クラブ奉仕であります。米山梅吉は、例会場は道場で自己研鑽の場であると言っています。例会終了後は、生活の中で奉仕活動の実践を行い、職場では職業奉仕、地域では社会奉仕、世界では国際奉仕です。職業奉仕とは、シェルドンが提唱した企業経営の理念、社会奉仕は、自己を超え他人のために尽くす人道的支援。国際奉仕は、ロータリアン同志が国を越えて世界理解や親睦を深める。

ロータリーの活動は、例会内と外に分けられますが、まずは内の活動を優先して行う。奉仕を実践したから例会に出席しなくても良いとは思わないでください。

■ロータリー活動の原点

活動の原点は、クラブ例会の運営であり、社会奉仕することや財団に寄付することではなく、クラブ奉仕を通じていかに素晴らしいロータリアンを育てることで評価されるべきである。RIや地区は上部組織ではありません。1910年シカゴクラブが増強するときに、奉仕の理念やクラブ同志のまとまりのため、16クラブの連合体としてRIの原型を作りました。クラブが先に出来、それを基にRIが出来、RIの要請を伝えるため地区が出来たので、あくまでもクラブが優先です。昭和16年戦争のため日本のクラブはRIを離脱しましたが、ロータリーの奉仕の理念と管理運営は会の名前を変えて続けられました。

RIがどんな方向を示そうが、奉仕の理念

の研鑽と奉仕の実践は、クラブが主体性を持って行うことです。

■ロータリーの規約

RI定款・RI細則・クラブ定款・クラブ細則の4つが規約としてあります。クラブ細則意外は、規定審議会を経て制定や改正を行い、クラブ・ロータリアンが守らなければならない必要条件ですが、クラブ細則は、それらに則っていれば各クラブが独自に制定や改正を出来ます。役員・理事構成、入会、会費、委員会、例会等はクラブ細則で決められており、自分達がやりやすいようにクラブの自治権を確立するべきであります。会長エレクトは次年度の活動を考えるとき、RIに関係なく必要な委員会を決め不必要な委員会を辞める事もかまいません。あのシカゴクラブには、サンシャイン委員会というのが未だにあり、年1回クリスマスの時メンバー内の子ども達にプレゼントするためだけの委員会です。こういう特殊な委員会をクラブ細則で定義すれば良いのです。推奨クラブ細則をそのまま使っているのがほとんどです。複数の委員会に配属され自分がどうなっているのか解らなくなってしまう。委員会の統廃合は必要で、あくまでも推奨であり、CLPは更に大括りをしていて実状に合っているクラブもあり、合っていないの也有ります。毎年実状にあったクラブ細則にして行くべきです。1927年に四大奉仕が決まり、その時の推奨クラブ細則の冒頭に、本クラブ細則は単に推奨されるに過ぎない。従ってRI定款・RI細則・クラブ定款に抵触しない限り、クラブの実情に応じて変更できると書いてあり、今の標準クラブ細則にも同様に書いてあります。各クラブ独自に細則を直し、100クラブ有れば100の違った細則があつて良いのです。

■どのようにクラブ細則を改正するのか

理事役員選挙についてですが、投票用紙にアルハベット順に名前を書き投票しろと書いてあります。そのまましているのではないと思います。指名委員会を作り選出しているのなら細則で決めるようにする。総会での選挙等実状に合わせるべきです。理事役員の欠員の補充方法、具体的な役員職務内容等も載せておくともごつきません。

一般的に役員は、会長・会長エレクト・副会長・幹事・会計・SAAでそれに四大奉仕

委員長・直前会長等加えたのが理事で有ります。その現状にあった構成でよいのです。小さいクラブは全員が理事役員となってしまいます。

■会 合

会合には、年次総会があります。役員理事を決めるもので12月末までに行い、そのほかには、例会と理事会しか有りません。臨時総会は存在しませんで、定足数を満たした例会で対処します。しかし、決めることが有れば、全て理事会で決めるべきです。

例会は、開始時刻、時間、場所の規定はなく、各クラブで決めます。1時間と決まっているのは、日本と台湾だけでそのほかは1時間半、2時間等バラバラで卓話後の質疑応答もありますので、検討すればよいのです。理事会は、毎月1回、要請により臨時理事会を開けます。一般には総会が最高の議決機関であります。ロータリーは理事会です。会長は理事の選任には注意を払います。

■財務と寄付

入会金・会費及び財務については、会費は、日本が一番高く、海外は食事費は全て別でアメリカが5万円ぐらいです。この差は、事務局費です。ほとんどのクラブは事務局があり、海外であるのは200名以上のクラブです。日本は、東京クラブが大会社のトップばかりでしたので事務局を作り、それを親クラブとして発展してきたので同様に、台湾も日本を手本にしたため同様になりました。幹事の役割が軽減して助かります。日本の例会場はホテル等が多く、アメリカはチケットを買い、好きな物を選びます。会員の事業所を例会の会場に無償で貸しているのも多くあります。会費は平等の原則がありますので、会場費は別に支払います。法人会員の役員交代で会員が変わるのに入会金免除もおかしい。個人の資格ではいるのだから払うべきです。元ロータリアンの復帰の時も入会金免除はおかしいと思います。

人道的奉仕活動の資金としてニコニコボックスがあります。1936年大阪クラブが始めた日本独特のものです。嬉しいことがあったら入れるという集めやすいシステム、目的別でなく使い方も多用に出来ます。協賛等使われる場合が多々見られますが、寄付団体ではないので、クラブが独自に奉仕する資金とし

ての方が望ましいと思います。外国では目的を持って集めるのが当然となっていてニコニコはありません。早退・欠席の罰金がありますが、目的があるので余剰金となるものはありません。ニコニコは会費の補充として一般会計に入れるべきでなく、会費負担の平等に反してしまいます。親睦活動にも同様に使うべきではありません。財団や米山も会費から送金する場合が多く見られますがそれも趣旨に反しています。ロータリー章典にも財団寄付は任意であるとなっていて、財団も米山も強請は出来ません。

■採 決

ロータリーの採決は口頭による採決が原則です。会員の親睦を思うと異論者に納得させるべきで、民主主義による多数決でなく、満場一致を探る必要があります。多数決は狩猟民族の採る方法で、森林民族はじっとしていれば生きていけるが、砂漠民族はどちらかに決めないとそのままでは死んでしまう、その時の方法が多数決です。

■委員会構成とCLP

CLPを推奨していますが、最近のRIはロータリークラブをNPOとして考えているようです。人道的奉仕団体として定義してしまっている。ボランティア団体として運営できるよう、会員減少したクラブを救済するために簡素化した組織を提唱した訳です。これは、あくまでもRIの推奨に過ぎず、委員会構成に関する自治権はクラブにあります。会員数や実践する奉仕活動に適應する委員会の統廃合や新設を行うべきです。地区の中にもCLP構成を行っているのもあり、地区とクラブは違うのでいかがかと思えます。最近、余り言わず四大奉仕に戻ってきているのもあります。ロータリー定款にもはっきりと戻ってきました。これは重田PGの功績であります。ロータリー定款第5条及び推奨クラブ細則第8条に四大奉仕部門がはっきり定義され、積極的に取り組むと成っており、CLPと矛盾する点が出てきてしまいました。

■会員選挙

クラブ内でもめるのは、新入会員の推薦の時が多いです。会員増強は、現会員の親睦を優先するか、単に増強を優先するか、推薦委員会が適切に判断すべきです。01年規定審

議会で一業種一人を廃止し一業種に複数の会員を認めました。しかし、複数を認めることで会員内の親睦が阻害されないことが大切です。入会手続きもクラブ細則で規定するので、クラブにとって複수에問題があるなら改正すればよいのです。私のクラブでは一人でも異議有れば入会できないとなっています。理事会でも同様になっています。全員の賛成がなければ入れないとすれば、クラブ内の親睦は守られます。

01年規定審議会の委員長をドクターマン元RI会長がしていて、彼にこのことを話したら、委員会で「会員のライバル関係にある人を入会させる提案でなく、ロータリー運動に理解し積極的に活動したいと思ってる人を全員一致で入会を望んでいるが、同業者が居るので入会できないときの提案です。」とクラブ内の和が大切という私の意見を理解し説明しました。どういう課程で審議会が協議して結論を出したかを知ることが重要で、結論だけでは間違った解釈をしてしまう場合もあります。細則に一人一業種と定義は出来ませんが、一人でも反対があれば入会を認めないと言う規定は出来ます。

先輩ロータリアンは新会員にあまりロータリー情報を提供していません。止められたら困る等が先に立ち、出席もままならなかったりしており、鉄は熱い内に打てとうしますように新会員の教育を行うことが大切です。新会員の指導は推薦者等も付き添い情報を提供すべきと思います。

退会者も増加している中で、ベテラン者の退会が問題になっています。会員の状況を把握し止めない気持ちに持っていくことが肝心です。私の地区でプロバスクラブが20以上有り、退会者がそちらへ多く入ってしまい問題です。移籍会員・元会員をクラブに入れることは出来ませんが、会員候補者を別のクラブに推薦できません。元会員を優先して入れる方向ですのでリタイヤした方を考えるのも良いでしょう。

■議 決

日本の一般的な組織は、総会が最高議決機関ですが、ロータリーは理事会の決議が絶対です。理事メンバーは会長が真剣に考えないと思ったことが出来ません。クラブは、公共の問題を討議することはかまいませんが、そ

それをクラブの意見としては表明しない事になっています。行政選挙で特定の候補は支持できません。地域社会・政治・国際問題等の公共に対して意思表示は出来なくなっています。政治との区別は生活に密接しているので難しいことです。内部議論はかまわないが、それをクラブ意見として表明しないということです。

■魅力ある例会運営

ロータリーにとって一番大事なものは例会です。週一回集まり、奉仕の理念を研鑽し、事業上の発想の交換を会員が行う自己改善の場であり、例会より奉仕活動の実践を進める傾向が強まり、例会軽視になりロータリーの衰退につながっていると感じています。

例会時間は、一時間と決めているのは日本だけで、卓話もままならなかったりディスカッションも出来ない。仕事の都合もあるでしょうが、延長もかまわないと思います。例会内のこれらの権限は、SAAにあります。全員参加の活発な議論も時には必要でしょうし、魅力ある例会を設営できれば良いのです。オフィシャルな時間を除くと、会員同士の情報交換する時間も余りありません。

毎週来たくような魅力ある例会を考える必要があります。最新のロータリー情報を提供する。友やロータリー雑誌の情報、ウェブからの情報等活用する。純粋親睦を図る事も大切。純粋親睦と親睦活動は違います。ゴルフや親睦会は親睦を補助することで、純粋親睦は、いつでも会員が屈託無く話せる環境を作ることです。それには委員会構成も考える必要があります。

卓話も重要です。職業奉仕活動の一環でもあり、会員が自分の職業をいつでも話せる体勢を持ち、実践に基づいた職業上の体験等を提供するのが重要です。外部卓話者も良いのですが、職業を代表してきている方なので年一回ぐらい準備をして会員の卓話も良いと思います。会長には毎回特別に会長の時間があります。ロータリーを勉強して、1年間ロータリーに関する話をしていただきたいと思います。世界理解月間等毎月特別月間がありますのでそれにあった卓話者をお願いするのも大切です。

会員は貴重な時間を割り振って例会に来ているので、出席のメリットを得られるように

しなくては成りません。卓話をするときはそのことを踏まえて準備してください。

■クラブ運営の合理化

会員数減少による財政の逼迫をよく耳にします。運営の合理化を考えなくては成らない時期だと思います。事務局員に多くの仕事を任せているのではなく、会員自ら仕事を分担して行うべきです。海外のクラブは幹事が事務的なことは仕切り会員に分担しています。会場もホテルで高い食事代を払い例会をしていては、市民からも良く思われたいでしょう。海外は会費と食事代は別です。海外との会費を比べたら日本が非常に高くなっています。今後は検討すべきではないかと思います。

事務処理のIT化を進めて欲しいと思います。インターネットを使った通信費の削減、処理の効率化を計り迅速化を合わせて欲しいと思います。週報もホームページに載せていますが、全員が対応できてないのでその対応も考えるべきです。

■クラブの存在価値

ロータリーの奉仕の理念は不変であり、今後も変わらないと思います。クラブは自治権を持ち管理運営と奉仕活動を実践していく、つまり個々の会員もクラブの自治権の中にあり、地域社会・国際社会で自らにふさわしいプロジェクトを実施していくことです。RIは国際レベルで考え推奨していて、その項目がクラブとしても大事なことと判断すれば実践していく。クラブにとってそれ以上に大切なのは、地域社会のニーズでそれを優先すべきです。何もしなければクラブの存在価値はなく、毎年何か一つ社会奉仕活動を行うことが望ましいと思います。

■ロータリーの役割

資本家が利益を独占していた時代から始まり、世界恐慌以降、利益の適正配分、福利厚生等の考えを取り入れた修正資本主義になりそれと共にロータリーは発展してきた。シェルドンは1890年代より取り入れ学校を作り、利益の適正配分を教えたのです。職業奉仕は完成されたロータリーは思ってしまい、その後ボランティア団体へと進路を変えてしまったのです。シェルドンの職業奉仕の理念は企業経営の理念を踏襲したもので不変である。しかし、世界情勢も社会構造も変わり新資本主義となったのですから、その



実践方法を変えて行かなくてはその理念を実践できない。それをまだ職業奉仕の理念が完成したと思い続けているので、職業奉仕の理念がないがしろになっている原因であると思います。新資本主義が主流となり利益優先で進んでる世の中は、ロータリーが出来た頃と同じような弱肉強食の時代となり、商取引の悪しき習慣、収賄等が表立っている現代では、職業奉仕の理念を見つめ直し実践すべきである。投資ファンドは職業分類にはないが、ロータリーの中に入れ考え直してもらうのが良いかとも思います。サブプライムローンの破綻から始まった不況は、新資本主義でよいのか疑問を投げかけている。このときこそロータリアンは、株主・従業員・同業者・お客様が満足するような、職業奉仕の理念を持って、正常な企業経営を行い、リーダーシップを発揮すべきだと思います。

■ロータリーの原点

原点である親睦と会員事業の発展について考えるべきであります。RIは会員相互の親睦、事業の発展、職業奉仕も全て捨ててしまい、ボランティア団体となってしまいました。では日本のロータリーの原点は何か、なぜ衰退してきているのか、メリットは何か、寄付を取られるだけでよいのか。人道的奉仕の達成感はあるかも知れないが、費用に対しての見返りはない、世間の評価も低い。これが大きな原因である。ロータリーに入っているメリットを創出することが最善の方策であります。100年に一度の不況の時、多くの事業所



は大変であります。会社の問題を胸襟を開いて相談できる仲間や環境がクラブにあるかが大事です。ロータリークラブ創設の原点は親睦です。再度親睦の確立を考え直すべきです。会員増強に走るだけでなく、職業分類を含め、会員の資質を考える必要があります。クラブ内にライバル関係や利害関係に関わる会員がいれば親睦は得られません。

業界を代表する経営者が集まっているのですから、信頼できる取引仲間です。しかし、仲間だけに限定したので一般から非難を浴びたのです。業界を代表してきているのですから業界のリーダーとして業界を発展させ他を育て会員として紹介する。

クラブライフを活性化するには、ロータリアンとしてのメリットの確立、そのメリットこそ会員同士の深い親睦と各自の事業の発展で有る。そのメリットによりクラブライフが活性化され、職業奉仕の理念に基づいた奉仕活動の実践が出来るのだと思います。

謝 辞

桑原 裕会長

ロータリーの活性化についてご講演いただき、今までの考え方を見直し、ロータリーを再認識させていただくことが出来ました。今後ロータリー活動をどう進めていくか考えさせられました。会員も現況を踏まえ勉強となったと思います。

この後、懇親会の席で交流を深め、クラブを元気にして参りたいと思います。長時間有り難うございました。

例 会 報 告

- 司 会 深津卓也 S A A 出席委員長
- 点 鐘 桑原 裕 会長
- ソング 奉仕の理想 水石清治君
- 来賓及び来訪ロータリアン
第2680地区パストガバナー 田中 毅君
- 会長の時間



◎林 康夫 沼田中央 R C 会長

沼田 R C 桑原会長はじめ皆様にはお世話になり合同例会を開催できありがとうございます。昨年田中先生のご講演を聞き多くを学ぶことができました。今日は、クラブの活性化について考えどう進めていくか勉強させていただきます。

沼田クラブとは同地域ですので親睦を深めてまいりたいと思います。また、今年は農業者同志の会長で個人的にお世話になり深く交流していますので、更に両クラブ会員が懇親を深めていただきたいと思います。



◎桑原 裕 沼田 R C 会長

沼田中央 R C との合同記念講演会を開催するのにあたり、両クラブ大勢のご出席いただきありがとうございます。尼崎から第2680

地区田中毅パストガバナーをお招きでき大変嬉しく思っております。両クラブが川場村の地で勉強し研鑽され親睦を深めていただければ素晴らしいと感じております。新会員も多く出席されていますので、ロータリーを少しでも理解し仲間として解け込んでほしいと思います。

9月6日地区合同セミナーが社会奉仕と職業奉仕を対象に伊勢崎で行われ、両クラブも多くの参加がありお世話になりました。同日に高崎の和田橋球場で当クラブ野球部と桐生クラブの野球試合が行われました。甲子園を目指して結成しましたが、まだユニホームも無く人数もたらず応援に行ったつもりが出場してしまいました。ライトを守り守備はなんとかでしたが、打つのは大変でした。桐生は上手で12対1で負けました。

田中先生の翻訳の中で、アーサーフレデリック・シエルドンが言っている「超我の奉仕により、最も奉仕するもの最も報われる」の理念を紹介され、職業奉仕の理念を書いています。「継続して繁栄しているクラブに共通して見られる特徴は、サービスである」と言っています。サービスとは、日本のロータリアンの中で日常的に使われている奉仕と田中先生は翻訳しています。

本日は先生のお話を聞き職業奉仕を実践し、クラブの活性化を計りたいと思います。

◎委員会報告

◎ニコニコ委員会

宮内明彦委員

・桑原 裕君 沼田中央 R C との合同講演会が川場村で田中毅先生をお招きし開催でき、皆様ありがとうございます。

・ニコニコ週間 合同記念講演会を田中先生をお迎えし開催でき。

永井彰一君	深津拓也君	平井秀明君
木下 進君	阿形登氏君	松野正一君
小林義雄君	金子吉志君	桑原伸一郎君
都丸順次君	片山晃一君	田代経量君
桑原 滋君	水石清治君	染瀬仁一君
富澤勝美君	桑原敏彦君	久保郁弥君
笹川正之君	関 真一君	船越和夫君
戸部聖之君	保坂充勇君	宮内明彦君
宮澤孝幸君		

■点 鐘 沼田中央 R C 林 康夫会長

